

審査基準

総合得点について

以下の書類審査点、プレゼンテーション審査点、価格点を合計した総合得点が最も高い事業者を優先交渉権者に選定する。

配点 書類審査点	1,500点 (和泉市障がい者福祉システム機能確認書)
プレゼンテーション審査点	2,000点 (提案書、プレゼンテーション、ヒアリング)
価格点	1,500点
合計	5,000点

※総合得点が同点になった場合はプレゼンテーション審査評価基準 通番15が高い者を優先する。
それでも同点の場合は通番16が高い者を優先する。
それでも同点の場合は通番19が高い者を優先する。

書類審査について

書類審査点（配点 1,500点）

採点方法は以下のとおり。

- ① 和泉市障がい者福祉システム機能確認書（以下、「機能確認書」という）の各項目について以下のとおり採点する。

各区分については3段階で評価し、採点する。

3段階の評価基準は 対応可能（○）＝5点、条件付きで対応可能（△）＝3点、対応不可（×）＝0点とする。

なお、機能確認書に「※～提案であれば対応状況に「－」と入力すること」とある設問は「－」の回答も認め、5点として扱う。（例：データセンターに関する設問だがデータセンターを利用しない提案の場合）

- ② ①の点数に対して、各項目の重要度係数を乗じる。

$$\text{③ 各区分の配点（満点）} \times \frac{\text{各区分の②の合計}}{\text{各区分の全項目の重要度合計} \times 5} = \text{各区分得点}$$

- ④ A区分点 + B区分点 + C区分点 = 書類審査点

※小数点以下は四捨五入とする

区分	内容	配点
A	機能確認書の【システム全般】、【構築体制】、【保守体制】、【ガバクラについて】に関する総合評価	300
B	機能確認書の【標準化対象業務】の機能に関する総合評価	600
C	機能確認書の【標準化対象外業務】の機能に関する総合評価	600

プレゼンテーション審査について

プレゼンテーション審査点（配点 2,000点）

採点の方法は以下のとおり。

- ① 別シート：プレゼンテーション審査評価基準にて以下のとおり採点する。

各項目について5段階で評価し、採点する。
5段階の評価基準は 特に優れている=5点、優れている=4点、普通=3点、やや劣っている=2点、劣っている=0点とする。

- ② ①の点数に対して、各項目の重要度係数を乗じる。

- ③ ②を各選定委員で行い、各項目の平均点を算出。

- ④ 次の計算式で算出する。

$$2,000 \text{点 (満点)} \times \frac{\text{③の合計}}{\text{全項目の重要度合計} \times 5} = \text{プレゼンテーション審査点}$$

※小数点以下は四捨五入とする

プレゼンテーション審査評価基準

項目	大区分	小区分	評価基準	通番	重要度係数	提案書のページ数
1. 提案の趣旨・システムの概要 今回の提案に関する基本的な考え方を評価する。						
1. 提案コンセプト	1. 本事業内容の理解度把握	本事業の内容を理解した上で、更なる業務の改善に繋がる提案がなされているか。	1	1		
		2. 提案者の事業運営に対する考え方	本事業の実施にあたっての運営方針が明確かつ的確に記述されており、優れた運営方針となっているか。	2	1	
2. システム概要	1. システムの概要	本市にとって最適なパートナーと成りうる取組み姿勢・考え方であるか。	3	1		
		本業務を遂行するにあたって、構築方針や運用・保守の基本的な考え方が明確に示されており、優れた考え方であるか。	4	1		
		2. 提案システムのポイント	システムに係る運用面において費用削減に繋がる提案であるか。	5	1	
		運用・管理・行政サービス全てにおいて適切・的確・分かりやすい・無駄が無いことと、余計なことをしない・させない・必要ない提案となっているか。	6	3		
		全ての提案に対して具体的根拠が明確化されており、実際の構築・運用時に置いて誤解や勘違いが生じにくい提案となっているか。	7	1		
		本事業内容を理解し、業務の効率化に寄与している提案となっているか。	8	3		
2. 提案システム及び機能 今回構築するシステムに関して、システム内容、ユーザインタフェース、拡張性などを評価する。あわせてシステムの構築の進め方について評価する。						
1. 全体方針	1. システム方式など	和泉市の規模に適したシステム・運用保守体制・構築体制が整っており、本市の行政サービスに良い影響を与えるものとなっているか。	9	1		
2. プロジェクト管理方法	1. 本プロジェクトの管理方法	プロジェクト管理、要員管理方法、品質管理方法は具体的に説得力のある説明がされており、その内容は優れているか。	10	1		
		進捗遅延発生、システムトラブル時における改善方策が具体的に記述されており、優れた内容であるか。	11	1		
		システム構築において考えられるリスクや課題を明記し、その解決策等を提示しており、優れた内容であるか。	12	1		
3. 開発体制及び開発方針	1. 本事業における開発体制	説得力のある経験年数、経歴が記述され、本業務の内容を適切に理解し遂行可能である人員で作業が行われるか。	13	1		
		業務にあたってのセキュリティポリシーは明確化されており、優れた内容であるか。	14	1		
4. システム	1. システムの仕様	仕様書の要件を満たし、且つ本市の想定以上の提案となっているか。	15	3		
		2. パッケージ特性	バージョンアップ対応・法改正対応等、常に新機能、拡張を実施しているパッケージである	16	3	
		特記事項、条件等が明確に記述されており、優れた内容であるか。	17	1		
5. 機器構成	1. クライアント・周辺機器等	本市の環境・既に導入している機器で正常稼働する提案であるか。性能、信頼性、運用管理性等を考慮し的確な構成となっているか。万が一本市の環境・既に導入している機器で正常稼働しない場合でも、本市に負担なく解消する体制が整っているか。	18	1		

項目	大区分	小区分	評価基準	通番	重要度 係数	提案書の ページ数
3. 作業スケジュール システム構築・移行に係るスケジュール全体を評価する。						
	1. 全体スケジュール		システム構築に関する（本番稼働開始予定日）の全体スケジュールが具体的かつ説得力のあるものであり、安定稼働も考慮された優れた内容であるか。	19	3	
	2. 移行作業スケジュール		データ移行も含め、市職員の負担が極力少ない提案内容となっているか、具体的かつ説得力を持った提示がなされているか。	20	3	
	3. 教育・研修		操作説明の内容が具体的に記載されており、複数回実施するなど、希望職員が研修を受けられる内容となっているか。	21	1	
4. 保守・運用について 保守・運用について評価する。						
	1. システム保守について		市民サービスに直結するシステムであるので、可用性・信頼性に優れた構成であり、それらが具体的根拠をもとに示されているか。	22	3	
			万が一のシステムトラブル時（小規模トラブルの場合、大規模トラブルの場合）の対応が明確化されているか。	23	1	
			システム障害発生時の被害を最小限にとどめるための工夫、方式を提案しているか。	24	1	
	2. システム運用について		高度な専門知識がない市職員でも十分なシステム運用が可能か。また、システム運用を実施する市職員に対して十分な支援が出来るか。	25	3	
			システム運用における具体的体制を明示し、事業者／本市／その他、役割分担が具体的に記述されており、優れた内容であるか。	26	1	
5. セキュリティについて セキュリティ機能について評価する。						
1. 安全 対策要件	1. ユーザ承認		機密性、完全性、可用性、真正性、信頼性が考慮されたシステム構成となっており、それらが具体的根拠をもとに示されているか。	27	3	
	2. 障害対策要件		マルウェアや内部犯等により情報漏洩事件が発生した場合でも、責任追跡性・否認防止が考慮されたシステム構成となっており、誰が、何時、何の情報を、どうやって、漏洩したのか等について調査可能であること。	28	3	
			セキュリティ対策については、最新のウイルス感染や最新の攻撃手法も防止できるよう迅速にパターンファイルを更新できる仕組みを有しているか。更に、セキュリティホールにも速やかに対応できる仕組みになっているか、具体的根拠をもとに示されているか。	29	1	
6. 特記事項 その他上記提案内容以外で、特に和泉市に有益な提案内容等について評価する。						
1. 特記 事項	1. 先進性		今後の社会情勢を見据えた先進的な取り組みの土台となる仕組みとなっているか。（参考価格についても記載されていること。）	30	1	
	2. 課題対応		仕様書（10）に示す課題解決、理想の実現につながる提案であるか。（参考価格についても記載されていること。）	31	1	
	3. その他事項		その他有益な提案がなされているか。（参考価格についても記載されていること。）	32	1	

価格点について

価格点（1,500点）

採点の方法は以下のとおり。

5年総額費用（システム構築費 + 保守費用 + システム利用料等）上限168,300,000円（消費税及び地方消費税相当額を含む）

① 次の計算式で、各提案者の合計見積価格から点数を計算し、価格点を求める。

$$1,500 \text{ 点 (満点)} \times \left(\frac{168,300,000 \text{ 円} - \text{提案金額 (消費税及び地方消費税相当額を含む)}}{168,300,000 \text{ 円} - 84,150,000 \text{ 円}} \right) = \text{価格点}$$

※提案額が84,150,000円以下の場合は満点とする

※小数点以下は四捨五入とする